

三好市

「(仮称) 箸蔵道の駅」基本計画  
(案)

2019.4.11

# 基本計画 目次（案）

---

## 第1章 はじめに

1.1 背景と目的	3
1.2 「道の駅」の概要	3
1.3 全国の「道の駅」	5
1.4 徳島の「道の駅」	7

## 第2章 三好市の特徴と課題

2.1 三好市の特徴	8
2.2 三好市を取り巻く情勢と環境	11
2.3 まちづくりの基本理念	12
2.4 三好市の取組み	12

## 第3章 事業対象地について

3.1 市の玄関口	14
3.2 池田町州津エリア	15
3.3 周辺の施設立地（予定）状況の整理	16
3.4 箸蔵寺とお遍路さん	17
3.5 現地調査	18
3.6 敷地条件の整理	19

## 第4章 基本方針

4.1 目指す「道の駅」	20
4.2 類型別機能	20
4.3 コンセプト	21
4.4 整備手法	23
4.5 周辺の整備予定施設との連携	23
4.6 親水空間の検討	24



---

## 第5章 施設計画

5.1 乗入れ位置の検討	25
5.2 配置パターンの検討	28
5.3 模型による配置検討	29
5.4 敷地整備の考え方（ゾーニング）	30
5.5 導入機能の整理	31
5.6 施設規模の検討	43
5.7 施設規模の算出	44
5.8 施設キーワードの抽出	69
5.9 配置計画の検討	70
5.10 建物階数による比較検討	75
5.11 建物デザインの検討	76
5.12 立面計画による検討	77
5.13 立面計画と階数の違いによる建物デザインの検討	78
5.14 施設計画の方向性	82
5.15 概算事業費	84
5.16 財政支援制度	85

## 第6章 整備・管理運営手法

6.1 整備主体	87
6.2 管理運営手法	87
6.3 事業収支について	92

## 第7章 今後の進め方

7.1 事業スケジュール	93
7.2 実現に向けた課題の整理	93

## 参考資料

参考1 検討体制	96
参考2 整備検討委員名簿	96
参考3 三好市「道の駅」整備検討委員会設置要項	97
参考4 上位・関連計画	99

# 第1章 はじめに

## 1.1 背景と目的

三好市は、2015（平成27）年度に「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定し、地方創生策として観光産業を基幹産業の1つとらえるとともに、都市部からの移住者を受け入れ、人口減少の抑制と地域活性化を図ることを目標に掲げています。具体的には、市の南西部には祖谷のかずら橋や平家落人伝説の残る祖谷地区、名勝大歩危・小歩危、中心部にはうだつの町並みが残る池田・井川地区、北部には四国霊場第66番札所「雲辺寺」、香川金毘羅宮の奥ノ院「箸蔵寺」、市の中心部を流れる吉野川ではラフティング、南部では剣山山系の腕山には四国最古のスキー場等市内あらゆるところで年間を通じて楽しむことができます。こうした資源を活かし三好市では「三好市まるごと観光」を掲げ、観光客の誘致を進めるとともに「生涯活躍のまち構想」を策定し、40歳以上のU I Jターン者を積極的に受け入れ、移住を促し「三方（移住希望者、受け入れ地域、三好市全体）よし」の取組みを実践しています。

本計画は、新猪ノ鼻道路と一般国道32号線のクロスポイント近くにある約1haの遊休地（市所有地）を活用して、地域の活性化を目的とした新たな観光スポット「（仮称）箸蔵「道の駅」」について地域課題や周辺状況に対応し、住民意向や利用者ニーズに沿った整備を計画的、総合的に推進するための基本計画とします。

## 1.2 「道の駅」の概要

### 1.2.1 「道の駅」とは

長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路交通の円滑な「ながれ」を支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄れ、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。また、人々の価値観の多様化により、個性的でおもしろい空間が望まれており、これら休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供することができます。さらに、これらの休憩施設が個性豊かなにぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されています。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生しました。

出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省



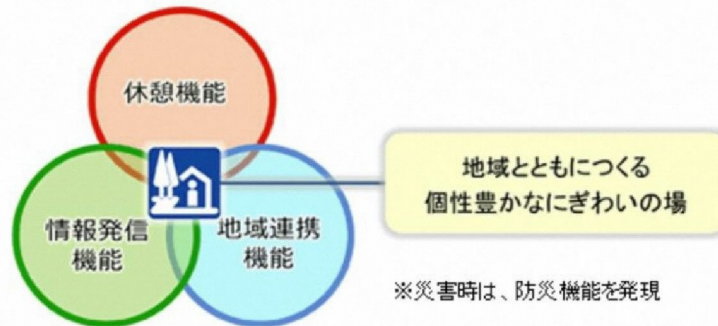
## 1.2.2 「道の駅」の目的と機能

### ○目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域振興に寄与

### ○基本コンセプト

休憩機能	・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
情報発信機能	・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
地域連携機能	・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

### 「道の駅」の基本コンセプト

## 1.2.3 「道の駅」の施設配置



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

### 「道の駅」の施設配置

#### 1.2.4 「道の駅」の設置者、登録方法

- ・「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置、登録は市町村長からの登録申請により、国土交通省で行います。
- ・整備の方法は、道路管理者と市町村等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類があります。

#### 1.2.5 「道の駅」の登録要件

- 休憩機能
  - ◇駐車場
    - ・利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場
  - ◇トイレ
    - ・身障者用も設置
- 情報発信機能
  - ・道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）
- 地域連携機能
  - ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
- 設置者
  - ・市町村又は市町村に代わり得る公的な団体
- その他配慮事項
  - ・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化

### 1.3 全国の「道の駅」

「道の駅」は、平成5年から登録を開始し、2018（平成30）年4月25日までに1,145駅が登録されています。下図に示す四国の4県では87の「道の駅」が登録され、徳島県の「道の駅」登録数は、16駅となっています。





## 1.4 徳島の「道の駅」

県内の「道の駅」の立地状況は、以下のとおりです。



- |            |          |             |
|------------|----------|-------------|
| 1 貞光ゆうゆう館  | 2 鷺の里    | 3 穴喰温泉      |
| 4 となり      | 5 にしいや   | 6 わじき       |
| 7 公方の郷なかがわ | 8 もみじ川温泉 | 9 温泉の里神山    |
| 10 藍ランドうだつ | 11 三野    | 12 日和佐      |
| 13 第九の里    | 14 大歩危   | 15 ひなの里かつうら |
| 16 みまの里    |          |             |

出典：四国の「道の駅」/国土交通省（一部加筆）

徳島の「道の駅」